

4月12日には1年生のオリエンテーションがありました。その中で部活動紹介があり、それぞれの部が工夫した資料の配布とともに



ステージ上でPRをしていました。吹奏楽部や軽音楽部は楽器を持ち込み、陸上部は映像で部の紹介をしていました。後半はユニフォーム姿の部が多く実演と道具の紹介がメインでした。本田学年主任が剣道着を着て登場されたのですが、生徒たちは至って冷静に受け止めていました。ステージ上からの質問で、何部に入ろうか決めている人はまだまだ少ないようで、大半の生徒は迷っているようでした。週明けには部登録がありますので、放課後見に行ったり、活動に参加したりして決めてください。兼部している人も多いようです。活動形態はいろいろありますので、できる限り自分たちの活動範囲を広げ、

いろいろな人と出会うためにも入部をおすすめします。しっかりと考えて部活動に参加してください。

4月13日は、1・2校時を使って身体計測を行いました。今後内科検診等の検診が6月にかけて少しずつ行われます。こういった検診で再検査等を指示された生徒の皆さんは、忙しいこととは思いますが、しっかりとした診察を受けて安全安心な状態で高校生活を送りましょう。また、今は大丈夫だと思っても、歯の治療のように今やっておかないと長い目で見たときに後悔することになる検診もあります。速やかな報告をお願いします。

また4月13日には県所属長会議という県下の校長と教育事務所等の長が集まる会議があり、教育長からの話と今年の県教育委員会の方針など事業計画等の説明を聞いてきました。財政状況が厳しい中、教育への支援は5年間で300億円の予算が充てられ、教育に関する事業や施設整備等が推進されます。また、特別支援教育についての理解を進めることや増加傾向にある支援や配慮を要する生徒の受け入れ体制の整備などの話がありました。こういった生徒の増加で特別支援学校の拡充及び通級指導についてさらなる理解を進める必要があります。会話がかみ合わなかったり、コミュニケーションがうまくとれず衝突を繰り返したり、急な変更に対応できなかったり、忘れ物が多かったりする生徒に対して、困り感をなくすために物事に対応する時間を設け、引き継ぎを行っていくためのシステムです。また発達障害に関するチェックシートもあります。日常生活の場面でどのようなことが多く起こっているかをチェックするものですが、「こういうことか」と気づかされる場合があります。一度ご覧になってください。少しずつ情報を出していきたいと思っておりますので理解を進めていきましょう。



4月15・16日は各部活動で大会がありました。私は、アーチェリーの大会を見たことがなかったので、16日にしあわせの村アーチェリー場を見に行きました。テニスコートはソフトテニスの試合で何度も行っていたのですが、その奥の山に囲まれた部分に会場はありました。今回は神戸支部の大会ということで30mと50mの競技があり、

本校生は50mに出場していました。90秒以内に3回矢を放ち、的に当たった矢を取りに行き得点を数えることを繰り返していました。当日は風も強かったのですが、この会場はそれでも風の影響は受けにくい会場だそうで、練習の際にスコップを覗きながら確認して試合に臨んだようです。同じような動きを淡々と繰り返すのですが、それだけに集中力と微妙な調整力が要求され、なかなか大変そうでした。今回は女子が午後からとなっており、先生方も運営が大変そうでした。無観客での実施でしたが、思った以上に競技人口も多く(失礼)、活気があり驚きました。最後まで見ることはできなかったのですが、県大会は70mになるそうなので、さらに練習を頑張って高みを目指してほしいと思いました。お疲れ様でした。他の競技も令和5年度の大会が始まりました。3年生はすべてが最後の大会となりますので悔いのないように仕上げてください。

今週から3年生の生徒との面談を始めます。学校への思いや自分の進路のことなど話を聞きたいと思っています。ご協力をお願いします。